



2月 わんぱくだより

2月は衣更着(きさらぎ・衣を更に着る)とも言い、まだまだ厳しい寒さが続きます。園内では一人遊びから周りのお友だちへの関心を広げ、にぎやかな声を聞く度、一年の成長ぶりに感動します。一人一人のスピードは違いますが、その子なりに一歩ずつ階段を上がっていく姿に、保育士としての達成感をおぼえさせてくれます。

先月より第6波が鳥取県にも波及し、対策を考えねばならなくなりましたが、基本はやはり「換気」「手洗い」「消毒」と従来通りです。感染拡大を防ぎ、人との往来が自由にできる日を楽しみに頑張っていきたいですね。

コロナによって、「人とのつながり」がいかに大切であるかを考えさせられました。

■今月のうた

- ・やぎさんゆうびん
- ・ゆきのこぼろず

■絵本

- ・しろくまのパンツ
- ・おふとんかけたら
- ・もけら もけら

■手あそび

- ・こんこんくしゃんのうた
- ・おにのパンツ
- ・グーチョキパーでなにつくろう

■英語あそび

- 絵本
- ・ Head Shoulders knee and clap ♪
 - ・ Open shut them ♪
- 歌
- ・ Where is my mother ?
 - ・ Spot Lover His Daddy.

■2月の予定

- 03日(木) 節分
- 15日(火) 避難訓練
- 17日(木) お誕生会メニュー
- 21日(月) 身体測定

マスク着用について

～うさぎぐみ～

保育園では3歳以上児になるとマスクを着用して登園することになります。

先日の「県のコロナ緊急点検」の際に、4月からの進級するうさぎぐみに対して正しく着用する練習をした方がよいとの話がありました。保護者の方と同様、園児も不織布マスクを推奨します。無理のない範囲でできたらと思いますので、準備の方をよろしくお願いします。



衣服の名前記入のお願い

室内での活動は薄着で元気に過ごしますが、その日の天候や子どもの体調に合わせて衣服を調整します。

つきましては、再度衣類等の持ち物に名前が消えていないか確認をしてもらい、また新しい衣服、靴下、下着等に名前をしっかりと記入をお願いします。宜しくお願いします。



うさぎ

《雪遊び》 朝の会の時に、雪の降る日には「雪のぺんきやさん来たかな?」「今日の天気は雪だったよ」と雪遊びをすることを楽しみにしている子どもたち。1月は天候不順や雪が積もらず雪遊びができなかったため、部屋の中に“雪を降らせて遊ぼう!”ということ、広告で雪を作って遊びました。広告をちぎって降らせたり、全身で舞い散る広告を楽しんだりして雪遊びごっこを楽しみました。暦の上では春を迎えますが、まだまだ寒い日が続きます。寒さに負けずに外に出て遊び、雪遊びができる日には雪と触れ合って冬の季節に感じられる感触や面白さ、楽しさを感じてほしいと思います。

《かるた遊び》 お正月遊びの一つ、かるた遊びをしました。読まれたカードを取りたくて、みんながカードをにらめっこしながらよく聞いて楽しんでます。友だちにルールを教えてあげたり、譲ったり譲ってもらったり、取れなかった悔しさから取り合いの喧嘩になる時もあり、いろいろな姿を見せてくれています。ルールを確認したり、どうしたらいいのか一緒に考えたりしながら葛藤を乗り越えて、また友だちと一緒に楽しむ姿に心の成長を感じます。また、読み札を持ち、覚えている言葉や自作の文章を読んで子どもたち同士でかるた遊びを楽しんでいる姿も。子どもならではの文章に「なるほど!」と発想の面白さを感じさせてくれる場面もありました。ぜひ、お家からも一緒にかるたや言葉遊びを楽しんでみて下さい。

《歯磨きについて》 今月より、給食後の歯磨きをしたいと思います。お家での歯磨きの時に、自分で歯ブラシを持って歯磨きやブクブクがいの練習をお願いします。準備していただく物など後日お知らせします。また、コロナウイルスの感染状況に応じて実施を中止する場合がありますのでご了承ください。



りす

冬を満喫中のりすぐみさんは、寒い日でもほっぺを赤くしてホクホク顔で元気いっぱいです。雪遊びはなかなかできませんが、天気の良い日はお散歩ロープをしっかりとにごっごお散歩に出発! つまづいたり、靴が脱げたりするアクシデントもお楽しみの一つのようです。「大丈夫?」と声をかけたり、手を差し伸べる姿に嬉しい成長を感じる一方で、まねっこして同じように転んでどろんこなんてことも。大人はあちゃ～と思うことも子ども達にとってはワクワク、ピカピカの体験なのですね。子どもたちの視点に寄り添って、私たちもいろんな気づきに引き込まれたいと思います。

《おしゃべりしたいな》

覚えてたの言葉を使って一生懸命に話してくる子ども達。しぐさや表情もプラスして何を訴えたいのか汲み取りながらこたえています。いつも驚かされるのはお母さん達の理解力! “もう少しなんだけど分からなくて「うんうん」とうなづいて返すだけになってしまうこと”もお母さんに確認すると、「ああ、それは”〇〇”って言ってます^^”とパツリ分かっておられることが多いです。しっかりと受け止めてもらっている子ども達ですね。

《なんかないもどちがうかな!?》

「今日、いつもと様子がちがうんです」と朝おうちの方から伝えてもらうことがよくありますが、だいたいそんな日は予想が当たります。やっぱりお家の方の観察力はすごいです。私たちもそんな日はしっかりと様子を見ながら保育することができるので、こんなご時世だからこそ改めて家庭との連携がとても大切だと日々感じます。家庭と園と一緒に安心して子育てができる環境で、子ども達にはのびのびと2歳前後のイヤイヤを存分に発揮しながら育ててほしいと思います。



ひよこ

先月でひよこ組のみんなが1歳になりました! 入園された頃と比べて、体力がついて体が強くなったり、いろいろな食べ物をおいしく食べたり、“自分でする!”とパンツをはこうとする姿が見られるようになりました。また、お友だちの存在を意識する様子が多く見られるようになり、一緒に追いかけて笑ったり、お名前を覚えて「〇〇ちゃん(だよね?)」と保育者に尋ねたり、お名前を呼んで隣に座って欲しそうにする様子も可愛らしいなあと思いました。朝の会で、みんな揃って今月のうたをうたったり、お名前を呼ばれてお返事をするに加えて、英語活動にも親しみをもち、「ファイン!」とガッツポーズで元気いっぱいお返事をしたり、身振り手振りをつけて英語の手あそびうたを楽しんでいます。先日は絵本を読んでもらい、大笑いしながら見ていました。

これからも、ますますお兄さんお姉さんになっていくひよこ組のみんなの成長を温かく見守りながら、残り2ヶ月も楽しく過ごしていけるようにしたいと思います。

